

新議長に

高橋 章氏が就任

副議長には茂木宗平氏

三月四日、町議会改選後の初議会となる、第二回臨時議会が開かれました。議会は新議長が選出されるまで、最年長議員である市村五郎氏が仮議長となり、議事が進められ新議長に高橋 章氏が、副議長には茂木宗平氏がそれぞれ選出され就任しました。

続いて新議長の進行により各常任委員会委員などが、次のとおり選任されました。

(敬称略)

▼常任委員会

(◎委員長 ○副委員長)

【総務委員会】

◎浜田 弘 ○茂木 正治
高橋 章 市村 五郎

【教育厚生委員会】

◎志村日出雄 ○川尻 幸雄
新嶋佐武郎 宮内 喜一

【経済委員会】

◎小沼友三郎 ○出沼 一
浜田 久一 土子 市作

横山 喜延 高野 喜行

【建設委員会】

◎高野 義一 ○堀越 幸一
茂木 宗平 新橋 恒政

宮崎 直衛

▼鹿島伝染病隔離病舎組合議会議員

浜田 弘

▼麻生町外二ヶ町村環境美化組合議会議員

新橋 恒政

▼鹿行地方広域市町村圏事務組合議会議員

土子 市作

▼広報委員会

浜田 久一

◎新嶋佐武郎 ○市村 五郎
新橋 恒政 高橋 章

▼霞ヶ浦水郷流域下水道整備促進協議会委員

浜田 弘

▼監査委員

出沼 一

市村 五郎



志村日出雄(55)

①南 ②無職
③無所属 ④現

藤崎 栄(56)

①新宮 ②会社役員
③無所属 ④現

浜田 久一(50)

①富田 ②農業
③無所履 ④現

茂木 宗平(65)

①小高 ②農業
③無所属 ④現

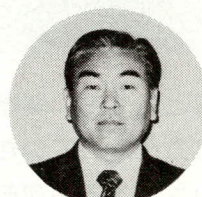
新嶋佐武郎(72)

①橋門 ②繭糸業
③無所属 ④現

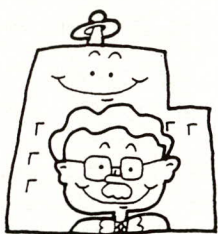
貝塚満寿男(59)

①五町田 ②農業
③無所属 ④現

市村 五郎(75)

①島並 ②無職
③無所属 ④現

土子 市作(52)

①矢幡 ②農業
③無所属 ④現科学技術週間
(4月18日～24日)

酒井 勝男(45)

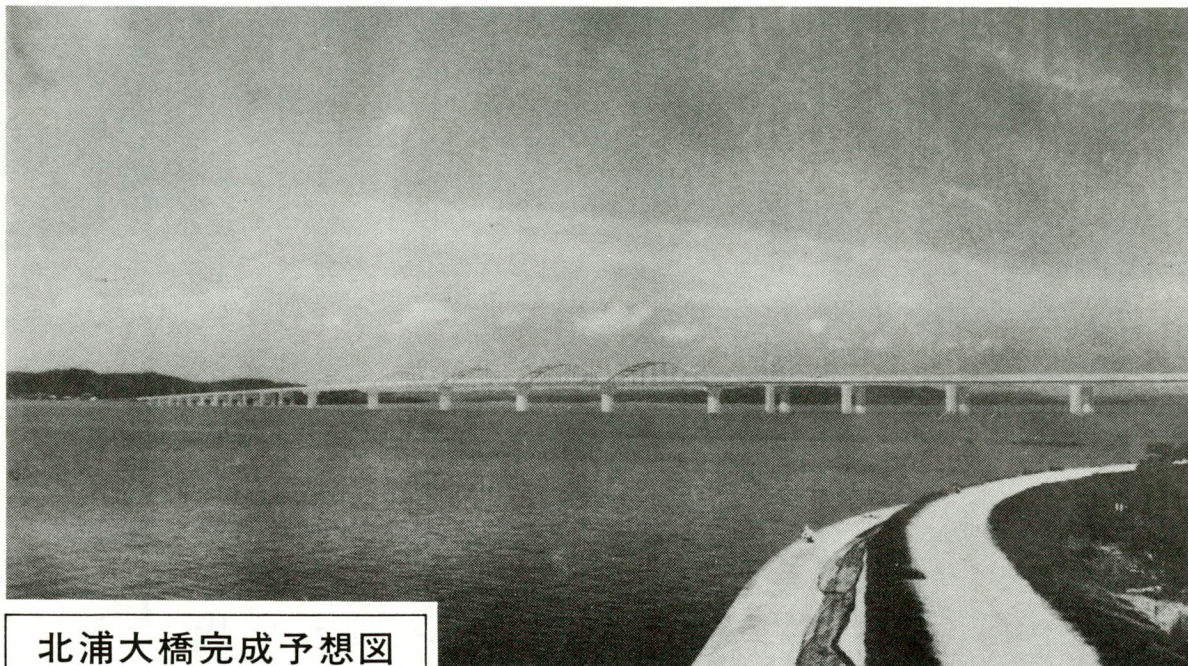
①麻生 ②商業
③無所属 ④現

小沼友三郎(57)

①南 ②農業
③無所属 ④現

出沼 一(43)

①麻生 ②米穀肥料商
③無所属 ④現



北浦大橋完成予想図



「町としても、関連道路の整備に力を入れていきたい」とあいさつする小沼町長。

鹿行をひとつにむすぶ

北浦大橋の建設が

スタート

鹿行をひとつに結ぶものとして建設が待たれていた、北浦大橋の工事安全祈願祭が二月十九日行われ、いよいよ建設工事がスタートしました。

祈願祭は、麻生町側と大野村側でそれぞれ行われ、麻生町側では、小沼町長をはじめ関係者が出席、工事の安全を祈り、祈願祭のあと、会場を県立婦人教育会館に移し、竹内知事、鹿行十二町村長、地元関係者、衆議院議員など、

およそ百五十名が出席して、起工祝賀会が盛大に開かれました。

北浦大橋は、鹿島開発とあいまって、鹿行の政治的課題となり、昭和四十六年には鹿行十二町村で、北浦大橋架橋促進期成同盟会が結成され、建設が促進されてきました。その間、多くの問題がありましたが、ひとつ一つ解決されいよいよ建設のはこびとなりました。

北浦大橋の概要

北浦大橋は全長一千二百九十五・八メートル。昭和六十九年度内には完成の予定で進められます。

この大橋が完成すると、行方郡と鹿島郡が直結され、鹿島郡への通勤がぐんと近くなり、物資の輸送、観光対策など鹿行の地域開発に大きな役割を果たすものと期待されます。また将来行方縦貫道、東関東自動車道の整備とあわせ麻生町周辺の道路体系の整備がますます進んでいくことでしょう。

路線名	一般県道 荒井—麻生線
区間	自：大野村掛崎 至：麻生町白浜
規模	車道——二車線 6 m 歩道——2.5m 全長——1295.8m
その他	無料橋

農業者労災保険に

加入しませんか

農作業は安全が第一、しかし、なれた作業、充分に注意を払っている作業と言っても万が一ということがあります。そんな時に頼りになるのがこの労災保険です。現在麻生町では百五十五名の方が加入しています。

一、加入できる人

耕運機、トラクター、田植機、コンバイン、動力草刈機等の指定農業機械を使用して農業を営む農業者

二、加入の時期及び期間

①時期

四月一日を原則とします
がいつでも加入できます。
なお、保険料は月割で計算します。

四、保険料について

保険料は次の表から加入者が任意に選ぶことができます。
(給付基礎日額が各

給付基礎日額	納付保険料(年額)
16,000円	35,040円
14,000	30,660
12,000	26,280
10,000	21,900
9,000	19,710
8,000	17,520
7,000	15,330
6,000	13,140
5,000	10,950
4,000	8,760
3,500	7,665
3,000	6,570

②期間

四月一日から翌三月三十一日までが加入期間です。
ただし、年度の途中から加入する場合は、加入した日(鹿島労働基準監督署が申込書を受付けた日の翌日)から翌三月三十一日までです。

三、加入のしかた

農業委員会事務局にある加入申込書で申し込んで下さい。四月一日付で加入希望をする人は、三月三十日までに申し込んで下さい。

種補償給付額の計算基礎になります。)

なお保険料の払込の方法は、農協口座振替払、又は農業委員会事務局への持参払いです。

また、保険料のほか麻生町労災保険特別加入組合費として、一戸あたり年額五百円を加えます。

五、補償給付内容

①療養補償給付
指定農業機械を使つての

国保からのお知らせ

保険証を大切に

国保は各世帯ごとに加入することになっていますが、加入するとその資格を証明するものとして、保険証が交付されます。

保険証を受けとったら、氏名などにまちがいがなければ、よく確かめ、注意事項を読んでおきましょう。もし、まちがいをみつけたときは、役場保険衛生課窓口へ申し出て下さい。また、保険証を勝手になおしたりすると、その保険証は無効となりますので注意しましょう。

保険証は医者にかかるときあなたが国保の被保険者であ

農作業中にケガをしたときは医療費が無料になります。

②休業補償給付

休業して四日目から給付基礎日額の百分の八十に相当する補償給付が受けられます。

③遺族補償給付

※ その他
その他詳細については地元農業委員、又は農業委員会事務局へおたずね下さい。

補装具の

巡回相談

昭和六十三年度補装具巡回相談の日程が次のように決まりました。また、会場へは身体障害者手帳(又は、戦傷病者手帳)・印かんを持参して下さい。

◎義手義足関係

時間は、いずれも十時から十二時まで

相談日

相談場所

4月8日	潮来町福祉会館
5月13日	麻生町公民館
6月10日	玉造町役場
7月8日	北浦村公民館
8月12日	麻生町公民館
9月9日	牛堀町公民館
10月14日	麻生町公民館
11月11日	潮来町福祉会館
12月9日	麻生町公民館
1月13日	潮来町福祉会館
2月19日	北浦村公民館

◎補聴器関係
時間は、いずれも十時から十二時まで

4月21日	玉造町役場
6月23日	麻生町公民館
8月18日	北浦村公民館
10月20日	牛堀町公民館
11月17日	牛堀町公民館
1月26日	北浦村公民館

保健婦だより

(21)

健康づくり

食生活改善推進員大会が

開かれる

食生活改善推進員が茨城県内の全市町村に育成されたのを機会に、健康づくり食生活改善推進員大会が、去る一月二十日に県民文化センターで開催されました。麻生町からは八人の食生活改善推進員が大会に参加しました。主な内容として、推進員活動の発表

や個人の健康づくりの体験談の発表の他、「がん予防と食生活―喫煙対策を含めて―」愛知県がんセンター研究所副所長富永祐民先生の講演がありました。講演の中で先生が示されたがんと食生活の関連について以下の表を参考にしよう。

がん予防のための食生活

避けた方がよいもの	摂った方がよいもの
×高濃度塩分食品 ×脂肪カロリーのとりすぎ ×アルコールの飲みすぎ ×肉や魚のこげ ×熱すぎる飲食物	○カロチンやビタミンCに富む食品（緑黄色野菜、生野菜、柑橘類） ○食物繊維に富む食品（精製しない穀類、野菜類、豆類、きのこ類、海藻類） ○牛乳
×偏食	○バランスのとれた食事 ○規則正しい食事 ○よくかんで食べる

料理の展示会

文化センターのロビーでは「茨城の味づくり展」として県内の農産物を利用した普及性のあるユニークな料理の展示が行われました。地域別に割り当て食品を決めて、各市町村一品ずつの料理を展示しました。麻生町では『イワシの三色揚げ』を出品しました。安価で手軽で栄養豊かなところがポイントです。さっそくお試し下さい。

イワシの三色揚げ

◎材料と分量（4人分）

イワシ（15cm前後6尾）・黒胡麻（大さじ2〔20g〕）・人参（中1/2本）・青のり（大さじ2）

【つけあわせ】 トマト（1ケ）・レタス（8枚）・きゅうり（1本）・レモン（1ケ）・揚げ油・小麦粉（150g）・塩・こしょう・ソース・しょうゆ

◎つくり方

- (1) イワシは頭・わたをとり、中央に親指を入れ骨をはずし、三枚におろし、塩・こしょうする。
- (2) 胡麻は荒くきざむ。
- (3) 人参はすりおろす。
- (4) 小麦粉を三等分し、それぞれ胡麻・人参・青のりを加え、天ぶらの衣よりややかために水溶きし、魚につけて揚げる。
- (5) 皿に野菜を添え、揚げた魚を盛る

◎摘要

- 1人分の予算 176円
- 栄養価 エネルギー 493kcal
タンパク質 19g
食塩 2g

食生活を

健康づくりのための

麻生町の食生活改善推進員の仲間たちも食生活をおしえて健康づくりの輪を広げようと活動しています。皆さんも次のようなことに注意して、健康的で楽しい食生活を心がけて下さい。

1 多様な食品で栄養バランスを

・一日三十食品を目標に
・主食、主菜、副菜をそろえて

2 日常の生活活動に見合ったエネルギーを

・食べすぎに気をつけて、肥満を予防
・よくからだを動かし、食事内容にゆとりを

3 脂肪は量と質を考えて

・脂肪はとりすぎないように
・動物性の脂肪より植物性の油を多めに

4 食塩はとりすぎないように
・食塩は一日十グラム以下を目標に

・調理の工夫で、むりなく減塩

5 こころのふれあう、楽しい食生活を

・食卓を家族ふれあいの場に
・家庭の味、手づくりの心を大切に

年金相談と 集合徴収を

〇と き 三月二十九日

(午前十時から午後三時)

〇と ころ 役場第一会議室

当日は、県社会保険事務所の年金専門官が、広く年金についての相談を受けますのでこの機会にお気軽にご相談下さい。また、保険料の未納がある方は、未納保険料の徴収もあわせて行いますので、必ず納めて下さい。

茨城県警察官を

募 集

区分A (大学卒)

▼資格 昭和35年4月2日から、昭和41年4月1日までに生まれた男子。大学(短期大学を除く)を卒業した者。または63年3月31日までに卒業見込みの者。ただし、63年7月1日から勤務可能な者。

▼試験日 第一次 4月10日
第二次 6月2日

▼受付締切り 4月2日

区分B (高校卒程度)

▼資格 昭和35年4月2日から、昭和45年4月1日までに

生まれた男子でA以外の者。ただし、63年7月1日から勤務可能な者。

▼試験日等 区分Aと同じ、詳しくは、麻生警察署、または最寄りの駐在所まで。

調理士手帳の 書きかえ

書 き か え

▼と き 三月二十八日、二十九日 午前十時から午後四時まで。

▼と ころ 新仲家本店 鹿島町宮中一ー一六ー一二

電話代八二ー二二二二

▼対象者 昭和六十一年以前に資格取得の者

▼その他 写真一枚(タテ三・五センチ、ヨコ三センチ)

書換手数料千五百円が必要。

▼問い合わせ 鹿行調理士会会長 茂木勝夫 電話七二ー〇三六一。または、麻生支部長 永作 稔 電話七二ー〇五八一まで。

訂正

広報麻生二月号、二ページ臨時議会の記事中に誤りがありました。第二号議案の契約金の差額は、十八万九千円とありますが、百八十九万円の誤りです。訂正しておわびいたします。

税の窓

(43)

自動車税と 軽自動車税

自動車税・軽自動車税は毎年4月1日現在の名義人に課税されますが、次のような場合は、3月末日までに登録変更の手続きをしないと、納税に関して種々のトラブル(63年度の納税義務が発生したり、納税通知書が届かないなど)が発生します。早急に手続きをしましょう。また、関係業者に手続を依頼した場合でもお忘れなく。

- 下取りなどに出して使用しなくなったとき
- 他人に譲渡したとき
- 他県登録ナンバーのまま使用しているとき
- 住所を変更したとき
- 婚姻等により、姓が変わったとき

自動車税についての相談は、麻生県税事務所(電話72-0483)、軽自動車税についての相談は、麻生町役場税務課(電話72-0811)におたずね下さい。

社教 だより

(43)

麻生高校
ハンドボール部が

10年ぶり
全国大会へ

麻生高校ハンドボール部(男子)が、来る3月24日から名古屋市民体育館で行われる第11回全国高校選抜ハンドボール選手権大会に、関東6県(東京、神奈川を除く)の代表として出場します。

麻生高ハンドボール部は、創部40周年をむかえ、その間、関東大会26回、全国大会14回、国体6回の出場実績をもつ名門ですが、全国レベルの大会への出場は10年ぶりになります。

現在、部員は11名。少数精鋭を勝ち残り、4位ではありましたが選抜されました。大会にむけ、OBの大川洋司教諭のもとに連日調整が続いています。大会での活躍が期待されます。

くらしの豆知識

ご注意!!

国債利用のネズミ講

十数年前、天家一家の会に
よって多数の被害者が出て、
ネズミ講が社会問題となった
ことを皆さんは覚えています
か。この事件を契機に議員立
法で法律が制定されました。

この立法の際、法務省刑事課
長が金銭配当組織という金銭
とは、「現金、小切手を指し
国債は含まれない」との答弁
に目をつけた脱法的システム
のネズミ講が又、浮上してき

ています。

国債利用のネズミ講のシステ
ムは、まず、①会員になるこ
と(会員になるには三十万円
の国債を購入)②本部が指定
する後輩会員へ国債十五万円
ずつ送付。③次に送られてき

麻生の文芸

俳句

梅東風を袂にいれて野立傘
大富士のてっぺんにある白魚舟
水に置く白魚水の色たもつ

短歌

やがての日遺墨とならむこともがな
精魂籠めて年賀状書く
歳老いて孫に包めるお年玉
ささやかなれど生きる幸せ
花束を胸に花屋をいでてゆく
和服の女をつつむ小春日

俚謡

俚謡の窓辺に久方振りの
雪を見とれる春景色
夜が淋しい心の夫は
連れて帰れぬ永久の旅
水の流と人生航路
あとに戻れぬ年惜しむ

塙 かほる

寺川 福

諏訪 常子

布施耕一郎

兼平 愛子

小沼 芳江

前島 ふみ

手賀 たつ

広岡 紫月

戸籍の窓口

おめでとございます

おくやみ申し上げます

赤ちゃん	保護者	住	所
大竹 孝明	信成	粗	毛
石崎堅太郎	直文	粗	毛
永作 麻衣	洋一	麻	生
山野江里加	正男	麻	生
土子 枝里	雄二	矢	幡
堀越由加里	明夫	石	神
大里江利奈	一男	島	並
浅野さくら	肇	小	高
永峰 恵介	英明	小	高
茂木 隼人	和彦	小	高
梅原 正輝	正夫	小	高
平野 勝之	敏	井	貝
須貝勝次郎	とら	麻	生
内山 トヨ	孝夫	麻	生
宮本又之助	誠司	麻	生
谷田川真進	91	麻	生
片岡 豊成	9	豊	前
小澤 啓作	82	貞	夫
横田源右衛門	62	根	小
永作 安治	68	蔵	川
高柳 通	80	白	浜
千葉治郎	84	宇	崎
望月 勝	80	文	子
生井澤一郎	71	弥	兵衛
四鹿		青	沼



まちの人口

総人口	18,073人	前月比	±0人
男	8,937人		-5人
女	9,136人		+5人
世帯数	4,168世帯		+1世帯

藤崎	すゑ	73	優
大久保美津代	61	寛	一
宮崎 チヨ	82	松	ヨ
前川 文雄	26	井	貝
板橋 ハナ	83	井	貝
福末	チ	井	貝
雄松	ヨ	井	貝
井貝		井	貝
井貝		井	貝
板下		井	貝
板峰		井	貝